

日本ゲノム微生物学会 第2回総会議事録

日 時 平成20年3月7日(金) 13:30~14:10

場 所 大阪大学コンベンションセンター MO ホール

吉川寛会長が開会挨拶を行い、出席者から議長の提案を求めたが、提案がなかったことから、森浩禎会員、佐伯和彦会員を推薦し、承認を得た。森浩禎会員、佐伯和彦会員が議長となり、委任状50通を含め、日本ゲノム微生物学会会則第5条により総会成立を確認し、議事に入った。

審議事項

第1号議案 2007年事業報告

小笠原直毅幹事より、資料1に基づき、2007年の事業について報告が行われ、承認された。

第2号議案 2007年学会収支決算

林哲也会員より、資料2に基づき、2007年学会収支決算が報告され、承認された。

第3号議案 2008年事業計画案

小笠原直毅幹事より、資料3に基づき、2008年の活動計画が提案され、承認された。

第4号議案 2007年収支予算案

林哲也幹事から、資料4に基づき、2008年度収支予算案について説明があり、承認された。

第5号議案 第4回年会(2010年)について

小笠原直毅幹事より、久原 哲 会員を年会長とし、九州地区で開催することが提案され、承認された。

報告事項

2007年年会の収支決算について、資料5に基づき、年会会長の小笠原直毅幹事より報告された。

2008年年会について、年会会長の小笠原直毅幹事より、関西地区の13名の会員の方を

組織委員として準備してきたこと、大阪開催の特徴を出すために、企業の研究者の方に協力をいただき、シンポジウム「ゲノムからひも解く産業微生物の特性」を企画したことなどが、報告された。

2009 年年会について、年会長の大森正之会員より、2009 年 3 月 5 日（木）～7 日（土）、中央大学工学部（後楽園キャンパス）で開催することとし、準備を進めているということが報告された。

議長が、以上をもって議事を終了した旨をのべ、閉会を宣言した。